

羊の色、そのままのギャツベ展

もともと数の少ない染めてない原毛そのままの色のギャツベ。
選んでえらんで、杉の床いっぱいになべます。

2022.1.15 土 -30 日

休み 1/18 火 19 水 25 火 26 水



栗のちいさな卓袱台でティータイム

コーヒーをのみながら、織り子さんと羊たちの暮らしを思いながら

染めてない、羊の色そのままの毛で紡いだ糸は、ふんわりとやわらかくて、無限の色の糸になる。カシュガイの織り子さんが無限の色を操ってあらわれるのは、かわいかったり、美しい模様だったり、ザクロスの山並みや麓の景色だったりする。

これからまた、どんな表現に出会えるのか、わからなくて、ドキドキする。このときめきは、地上に織り子さんと羊たちがいてくれるかぎり、続いてく。激しい気温差に晒されてたくましく生き抜いていく羊たちと、生活をともに歩んでくれている遊牧民の人々と織り子さんに、心からのありがとう。



アイボリーの原毛の糸